

日本文化研究班

研究プロジェクト代表

赤間 亮

(立命館大学大学院文学研究科・教授)

「古典演劇情報アーカイブ」プロジェクト

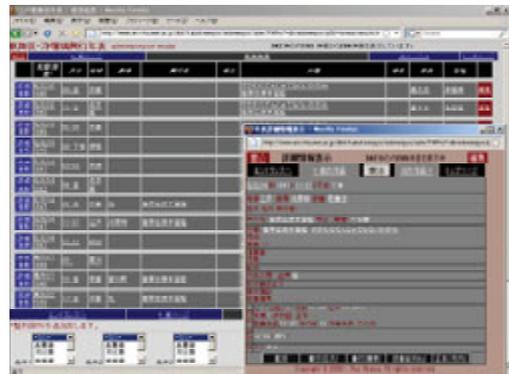
本プロジェクトでは、アート・リサーチセンターに蓄積された膨大な古典芸能資料を核に、国内外の研究組織と連携して演劇上演情報、演劇資料のデータベース化、ならびにデジタル活用を図り、デジタルアーカイブ技術によって、世界規模の研究基盤整備と日本古典芸能の研究の牽引役となることを目指す。

○歌舞伎・文楽総合年表の構築

本プロジェクトでは、第二次世界大戦以前までの WEB 版 歌舞伎・文楽総合年表の構築を行っている。その内容は、

- 1, 興行年表(江戸・大坂・京都・名古屋・その他の地域)
- 2, 人名データベース
- 3, 配役・移動データベース
- 4, 資料データベース(画像付き)

などのデータベースが連動する総合年表である。



○資料データデジタルアーカイブ

上記の資料データベースに関わり、紙ベースでは実現不可能であった、典拠提示型年表、解説を実現するために、資料そのもののデジタル画像アーカイブを行い、原典まで遡って考察できる研究環境を構築する。現在、次の資料の画像データベースが稼働している。

- 1, 番付閲覧システム(ARC・ボストン美術館・国立音楽大学・日本大学、他)
- 2, 歌舞伎音曲正本閲覧システム(ARC・国立音楽大学、他)
- 3, 役者絵閲覧システム(ARC・都立中央図書館・演劇博物館、他)
- 4, 台帳閲覧システム(ARC・国立音楽大学・日本大学、他)



○伝統芸能上演情報サイト運営

現代の古典芸能上演情報を先行して整理することにより、必要とされる専門知識へと連動する興味を WEB 上で解決させながら、情報蓄積がされていくコミュニティ型サイト運営の実践サイトを運営し、中国語版、英語版により、古典芸能の海外へ情報発信を実現している。

共同研究機関：国立音楽大学、早稲田大学演劇博物館、松竹大谷図書館、コーネル大学 GloPAC